

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(9月29日～10月5日)

2020年10月9日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領がプーチン露大統領と電話会談(10/2)
- 英国とカナダが対ベラルーシ制裁を導入。(9/29)
- ミンスクで「政治犯解放のための行進」が実施された他、地方都市でも抗議活動が継続。(10/4)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

- プーチン露大統領と電話会談(10/2)
 - ・ナゴルノ・カラバフ情勢を含む国際諸問題が両首脳の関心の対象となった。
 - ・両首脳は、欧州の諸問題に関連してベラルーシ及びロシア情勢を議論し、双方の国内の状況に関して詳細な情報が交わされた。
 - ・両国間の航空・鉄道・自動車輸送の正常化をめぐる今後の行動についても議論された。
 - ・COVID-19の拡大状況に懸念が示された他、先般実施された軍事演習「スラブの絆 2020」の分析も行われた。
 - ・第7回ロシア・ベラルーシ地域フォーラムの結果についても議論され、地方首長や企業代表の間のコンタクトが両国関係において果たす極めて重要な役割が強調された。
- (9/23 大統領公式サイト)

- セニコ国家税関委員会委員長と会見(10/5)

ルカシェンコ大統領は、リトアニアからベラルーシへの物流サービスの方針転換を提案。

(10/5 ベラパン通信)

【内政】

- 情報省が、独立系ニュースサイト TUT.by のインターネット・マスメディアとしての資格を10月1日から12月30日までの3か月間剥奪。(9/29)

(9/29 ベラパン通信)
- チハノフスカヤ元候補が、ベラルーシの著名弁護

士ポゴニャイロ氏を人権担代表に、経済学者のアレフノヴィチ氏を経済改革担代表に任命。(9/30)
(9/30 ベラパン通信)

- 駐アルゼンチン大使がルカシェンコ氏の大統領就任式当日(9月23日)に辞任を申し出ていたことが判明。(9/29)

「現在は決定が下されるのを待っており、形式的に留任している。ベラルーシ国民にとってのより良い将来を信じている。」

(9/29 TUT.by)

- ソリゴルスク市の抗議活動でベラルーシカリ社のスト委員会のメンバーとジャーナリストを含む20人が拘束された。(10/3)
(10/3 ベラパン通信)

- ミンスクで花を持った女性たちによる「花のデマルシュ」が実施された。(10/3)

これまでの土曜日の女性の行進で逮捕者が続出したことを受け、大通りに沿って大人数にならずに行進するという方式に変更された。

(10/3 ベラパン通信)

- ミンスクで「政治犯解放のための行進」が実施された他、地方都市でも抗議活動が継続。(10/4)

「政治犯解放のための行進」には10万人以上が参加。治安当局は放水車でデモ参加者に放水し、多数を拘束した。独立系ニュース・ポータル「オンラインナー」の記者が逮捕された。ボブリスク市(モギリョフ州)、ブレスト市、ゴメリ市でも複数のジャーナリストが逮捕さ

れた。

(10/4 ベラパン通信)

●ミンスクで年金生活者がデモ行進(10/5)

(10/5 ベラパン通信)

【外交】

●ベラルーシ外務省が、リトアニア、ラトビア、エストニアの高官(各 100 名以上)に対する入国禁止の制裁導入を発表。(9/29)

(9/29 ベラパン通信)

●英国とカナダが対ベラルーシ制裁を導入。(9/29)

制裁内容は英国とカナダへの入国禁止や両国に所在する資産の凍結で、ルカシェンコ氏の他、治安機関幹部などが対象。

(9/29 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補がリトアニアにおいて、マクロン仏大統領と会談(9/29)

マクロン大統領はベラルーシの政治危機の解決支援の仲介役となる用意を表明。

(9/29 TUT.by、ベラパン通信)

●プーチン露大統領、ロシア・ベラルーシ地域フォーラムの参加者にメッセージを发出。(9/29)

ロシア政府からはフォーラム出席者なし。ロシアの地方首長の出席にとどまった。

プーチン大統領のメッセージ要旨：

「両国は連合国家創設条約を目的に叶う形で実現しつつあり、ユーラシア経済連合の活動に積極的に参加している。」「ベラルーシは大統領選挙後の前例のない外圧を含め、容易ならざる状況に置かれている。」

(9/29 TUT.by)

●メルケル独首相、ルカシェンコ氏を大統領として認めないと表明し、チハノフスカヤ元候補との会談を予告。(9/30)

(9/30 ベラパン通信)

●国際非暴力デー(インド独立運動の指導者ガンジーの誕生日である 10 月 2 日)に際して、駐ベラルーシのEU各国、日本、スイス、英国の大使らが非暴力をアピール(10/1)

(10/1 TUT.by)

●ベラルーシ外務省声明がEUによる制裁導入に関して「10月2日付の欧州連合評議会の決定に関するベラルーシ外務省の声明」を発表。(10/2)

「制裁は、ベラルーシが、自らを尊重するいかなる主権国家も受け入れられないような一連の最後通牒的な要求を受け入れなかったために、懲罰的な措置として導入されたものである。」

「ベラルーシの高官に対してEUが決定した査証に係る制裁に関連して、ベラルーシ側は本日(当館注：10月2日)から対抗として制裁リストを発動する。」

「EUがさらに『制裁のはずみ車』の回転数を上げれば、更なる深刻な結果、例えば共同プログラムやプロジェクトからのベラルーシの脱退や外交プレゼンスのレベルと様式の見直し(外交関係を維持することの合目的性に関する決定まで含む)といった結果に繋がりが得る。」

(10/2 外務省ウェブサイト)

●グラス・ベラルーシ外務省報道官、在ミンスクのポーランド大使館及びリトアニア大使館の館員数削減を要求。(10/2)

同報道官は在ミンスクのリトアニア大使館の館員数を 25 名から 14 名に、ポーランド大使館の館員数を 50 名から 18 名にそれぞれ縮小するよう要求。また、10月5日以降に両国駐箭のベラルーシ大使を協議のため一時召還する旨発表し、両国も同様にベラルーシ駐箭の大使を本国に召還するよう要求。

(10/2 ベラパン通信)

●グラス・ベラルーシ外務省報道官、9 月 29 日にルカシェンコ大統領を含む 8 名のベラルーシ高官に対する制裁を決定した英国とカナダに対して対称的制

裁を導入すると表明。(10/2)

(10/2 ペラパン通信)

●EUと米国が対ベラルーシ制裁を導入。(10/2)

EUの制裁内容は、40個人(ルカシェンコ大統領は含まれず)に対する資産凍結と入域禁止措置。米国の制裁内容は、治安関係者と中央選管の計8名を資産凍結対象リストに追加し、24名を入国禁止対象リストに追加するもの。

(10/2 ペラパン通信)

●ザハロフ露外務省報道官の発言(10/2)

「連合国家に係る義務として、ベラルーシによるEUに対する制裁リストは、発効日である2日から自動的にロシアでも適用される。」

(10/2 ペラパン通信)

●ジョアンナ・カザナ＝ヴィシネヴィエツキ在ベラルーシ国連常駐調整官がカザケヴィチ第一内務次官と会談(10/2)

カザナ＝ヴィシネヴィエツキ常駐調整官は、デモ参加者の拘束、及び拷問があるとの情報に懸念を表明。

(10/2 ペラパン通信)

●リトアニアとポーランドが協議のために駐ベラルーシ大使を召還。(10/6)

リトアニアとポーランドは、当初は駐ベラルーシ大使の召還を予定していないと表明したが、10月5日にグラス・ベラルーシ外務省報道官が大使召還と館員数縮小の提案は必ず実行に移されるべき旨表明。

これを受け、6日、両国外相が大使の召還を決定。リトアニアのリンケヴィチュス外相は、ボレルEU外務・安保政策上級代表、ラウ・ポーランド外相、マース独外相との「集中的協議」の後に大使召還を決定したとのこと。ポーランドのラウ外相は、他のEU加盟国も協議のためにミンスク駐箚の大使を召還しつつあると明らかにした。

(10/6 ペラパン通信)

経済

【国内経済】

●ロシアからの融資によるベラルーシ原発(オストロヴェツ原発)の建設費は 60 億ドルを超えない見込み。当該情報が記載されているのは、ロシアの法規文書記録プロジェクト・ポータルに投稿された、同原発建設に対するロシアの融資に関する合意書の修正に関する政府決定案に付属した説明書類。

(9/29 ペラパン通信)

●9月1日時点のベラルーシの国家債務、2020年初から 130 億ベラルーシ・ルーブル増加して 578 億ベラルーシ・ルーブルに。

(9/30 ペラパン通信)

●欧州復興開発銀行(EBRD)、2020年のベラルーシの GDP 成長率は前年同期比 3.5%減と予測。

(10/1 ペラパン通信)

●国家統計局発表:2020年第2四半期のベラルーシ GDP は 3.3%減の 336 億ベラルーシ・ルーブル。

(10/2 ペラパン通信)

【対外経済】

●ベラルーシがユーラシア経済連合域外に輸出される原油及び石油製品に対する関税を引き下げ

9月30日付閣僚会議決定第567号により、10月1日から原油に対する輸出関税は1トン当たり47.5ドルから45.4ドルに引き下げられた。

(10/1 ペラパン通信)

●ゼレンスキー・ウクライナ大統領がベラルーシからIT専門家を誘致する決定に署名。(10/4)

同決定によると、ITやイノベーション分野の起業家と高度専門家及びその家族であるベラルーシ国民に対して、ウクライナでの短期滞在可能期間が年間180日まで延長される。

(10/4 ペラパン通信)

(了)